

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2015年11月）議事録

日時：2015年11月20日（金）午後5時30分～7時15分

場所：AP東京八重洲通り 11F Mルーム

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

西平賀昭、永富良一両副理事長、

碓井外幸常務理事、

大野 誠、小野寺昇、甲斐裕子、勝村俊仁、

栗原 敏、後藤勝正、須田和裕、武政 徹、

竹森 重、田中喜代次、内藤久士、

成田和穂、西牟田守、浜岡隆文、宮地元彦、

山内秀樹各理事、

清田 寛、小林康孝各監事、

田島文博（第70回大会長・和歌山）、

立身政信（第71回大会長・岩手）、

尾形直則（第72回大会長代理・愛媛）

欠席者：川原 貴、坂本静男、下光輝一、田畑 泉、

能勢 博各理事、井上 茂、定本朋子各監事

委員長：永富良一、委員：鈴木政登、田中喜代次、内藤久士、田島文博、碓井外幸、武政 徹

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者6名の氏名リストが提示され、承認された。

3. 今後の国際会議における共同主催について（鈴木理事長）

1) 第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会（9th FAOPS）の連携開催について

配布資料に基づき、9th FAOPSの説明がなされ、審議の結果、共同参加（共同参加の形態については別途検討）することが承認され、永富渉外委員長が体力医学会の窓口となり進めていくこととなった。

2) 平成30（2018）年度開催国際会議における共同主催の募集について

前回理事会で田畑理事より提案のあった日本学術会議の共同主催の募集について、前項1）にウエイトを置いて進めることが承認された。本学会が会員として加盟している日本スポーツ体育健康科学学術連合が募集に応募する場合、体力医学会は1会員として参加するが、第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会（9th FAOPS）の連携開催にウエイトを置くことで了承された。

4. 学術刊行物小委員会設置について（永富委員長）

配布資料に基づき、学術刊行物発行の目的と委員構成について説明がなされ、以下の委員が承認された。今年中に大枠を決めるスケジュール感で進めていくこととなった。

学術刊行物小委員会委員（敬称略、順不同）

5. オンライン名簿について

鈴木理事長より、「前期理事会における将来構想委員会で検討してきたオンライン名簿について、委員会引継ぎの際に新委員長と認識の相違があり、新将来構想委員会委員長よりオンライン名簿については引き受けられないという回答があった」との報告があった。その報告を受けて、名簿発行のスケジュールも遅れてしまうため、総務委員会を中心としてオンライン名簿作成を進めたいとの提案があり、承認された。

武政総務委員長より、配布資料に基づき、11月13日に学会支援機構にてオンライン名簿について実際の画面等を確認してきたとの報告がなされ、詳細について説明がなされた。様々な議論がなされ、定款にも名簿発行が記載されており、まずは発行する方向でかつ費用面を抑えて会員にとって活用しやすい方法を目指すためにオンライン名簿を進めたいと報告があり、承認された。今後、定款変更し、名簿発行を廃止するか否かも検討することとなった。

6. その他

1) 日本スポーツ体育健康科学学術連合の運営委員について（鈴木理事長）

本学会が加盟している日本スポーツ体育健康科学学術連合の運営委員について、役員改選があったこともあり、下光理事と小野寺理事から鈴木理事長と須田理事に変更する事が提案され、承認された。

2) 竹宮隆名誉会員の追悼文について

（田中編集委員長）

先般逝去された竹宮隆名誉会員に哀悼の意を表し、全員で黙祷した。また、竹宮隆名誉会員の追悼文を西平副理事長が作成することとなった。

3) 投稿規定改定について（宮地利益相反委員長）

配布資料に基づき、投稿規定の改定案として「利益相反のない、ありにかかわらず、その状況を申告すること」「論文の末尾には利益相反のなし、ありに関しもなく簡潔に記述」の2点が提案され、審議の結果、編集委員会と利益相反委員会の共同で投稿規定の利益相反に関する記述について、検討していくこととなった。

4) 会費収納方法について（武政総務委員長）

事務局業務委託先の学会支援機構から会費収納オプションについて説明を受けたと報告があり、会費収納方法として自動引き落とし、クレジットカード決済、コンビニ支払について費用やメリット・デメリットを記載した資料が配布された。会員サービスの向上を目的に、現状の会費収納方法の郵便振替とクレジットカード決済のオプションを加えることが承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

- 1) 編集委員会 (田中委員長, 後藤副委員長)
 - ・投稿状況について, 2015年9月1日から11月17日現在まで「JPFMS」誌:新規投稿11編 (内1編海外からの投稿), 採択2編, 審査中4編, 不採択4編, 受付不可1編, 「体力科学」誌:新規投稿11編, 採択0編, 審査中9編, 不採択2編と報告があった. 受付不可の1編は規定のページ数を大幅に超えており, 二重投稿ではないが, 「JPFMS」掲載後の「体力科学」への二次出版であり, 二次出版については投稿規定で定められていないため, まずは二次出版についての基準作りから始めることとしたと報告があった.
 - ・掲載予定について, 「JPFMS」誌Vol.4, No.5は11月25日発行で, Invited Reviews 2編, Short Reviews 2編, Regular Articles 2編, 「体力科学」Vol.64, No.6は12月1日発行で, 和歌山大会抄録集859編と報告があった.
 - ・投稿規定改定について, 「JPFMS」誌, Vol.5, No.6に岩手大会の英文抄録を掲載する事が決定しており, それに係わる点, JPFMS誌に投稿の際の添付証明書 (倫理審査承認証明書, 英文校閲証明書) の廃止に係わる点, 引用文献へのDOI (Digital Object Identifier) の記載に係わる点を改定したと報告があった.
 - ・JPFMSのインパクトファクターを上げるため, JPFMS誌が発行された際に会員にEmail配信を行い, 閲覧数を増やしたいと提案があり, 審議の結果, 承認された. まずはJPFMS誌発行の度に配信していくこととなった.
- 2) 学術委員会プロジェクト研究委員会 (須田委員長)

今期のプロジェクト研究の募集締切を1月31日に

設定したと報告があった.

- 3) 渉外委員会 (永富委員長)
 - ・ECSSの公募事業について, 応募が1件も集まらなかったと報告があった. 今回は内藤理事が提案したテーマでECSSに応募したと報告があった.
 - ・派遣助成制度について会員向けのアンケートをする予定であると報告があった.
 - ・オランダの厚生スポーツ省に呼ばれ, オランダの使節団がオリンピックに向けてスポーツサイエンスを図るという目的で活動を進めていると報告があった.
- 4) 広報委員会 (甲斐委員長)

役員名簿を更新したこと, 会員からの有益な情報があれば随時掲載をしていると報告があった.

2. 第70回 (和歌山) 大会報告 (田島第70回大会長)

配布資料に基づき, 以下の事項について報告がなされた.

参加総人数: 2,512名

総演題数: 1,021演題

女性座長割合: 14.42% (30名/208名)

3. 第71回 (岩手) 大会の進捗状況 (立身第71回大会長)

配布資料に基づき, 大会のプログラム等準備状況について報告がなされた.

会期: 2016年9月23日(金)~25日(日)

会場: アイーナ, マリオス

4. 第72回 (愛媛) 大会の進捗状況

(尾形第72回大会長代理)

大会の準備状況について報告がなされた.

会期: 2017年9月16日(土)~18日(月)

会場: 愛媛大学, 松山大学